

令和5年度 学校評価アンケート集約(保護者・生徒)

4：あてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：あてはまらない

評価項目	No	評価内容 ※ () は保護者への質問内容の要約	保護者				生徒			
			前期平均	肯定的回答	後期平均	肯定的割合	前期平均	肯定的回答	後期平均	肯定的割合
学びに向かう姿勢の定着	1	(生徒の学力を向上させるためには、学習に向かう姿勢を高める必要がある。)	3.6	96.4%	3.5	93.9%				
	2	授業では、学習課題やめあてなどが示されており、それについて考えるための活動がある。(生徒に考えさせるための学習課題を工夫することが大事である。)	2.8	71.5%	3.1	84.8%	3.7	98.0%	3.8	99.5%
	3	授業では、先生の話や聞く場と、生徒が課題などに取り組む場がある。(生徒同士で話しあったり、協力して課題に取り組んだりする方が学力が高まると思う。)	3.0	81.8%	2.9	75.2%	3.8	96.6%	3.8	99.0%
	4	授業には、全員が参加しようとしている。(一人残らず授業に参加することが大切である。)	3.0	77.0%	3.0	69.5%	3.0	78.4%	3.1	83.9%
	5	授業が、一部の生徒の発言や意見などで進められることはない。(一部の生徒の考えや意見で進むことがないようにしなければならない。)	3.4	93.3%	3.4	89.1%	3.1	78.0%	3.0	73.7%
	6	授業中のルールが示されており、ルールを守るように指導を受けている。					3.5	90.7%	3.6	96.5%
	7	授業中に姿勢が崩れがちな人には、先生が声かけを行っている。(姿勢が崩れがちな生徒には、教師がすぐに声かけをする必要がある。)	3.2	81.8%	3.3	87.8%	3.4	88.3%	3.5	93.0%
	8	授業では、ICT機器が使用され、生徒が分かりやすい工夫がされている。(ICT機器やクロームブックを活用して、生徒に視覚的に理解させることが大切である。)	3.2	92.7%	3.2	87.9%	3.5	95.1%	3.7	99.0%
	9	先生は、授業中の良い発言や考えをほめてくれる。					3.5	88.8%	3.5	92.0%
	10	授業では、生徒同士が「ききあい」や「協力」ができる工夫がされている。(一斉授業よりもペア活動やグループ活動を取り入れた方が、生徒の理解や思考が深まると思う。)	3.0	81.8%	3.1	84.8%	3.5	94.6%	3.6	96.5%
一人一人を大切に した取組の充実	11	先生は、自分や他の人の悩みや相談に応じてくれる。(子どもや保護者の悩みや相談に適切に対応している。)	3.1	83.6%	3.0	83.8%	3.5	90.7%	3.5	91.8%
	12	先生は、気になる生徒をよく見ていて、声をかけたり助けたりしている。(家庭との情報共有に努めている。学校からの情報が伝わっている。)	3.0	81.4%	3.0	78.1%	3.4	90.7%	3.5	94.0%
	13	先生は、いじめに気を配っており、問題にはすぐに対応している。(教育相談やアンケートにより、いじめの防止や早期発見・早期対応に努めている。)	3.0	79.3%	3.0	75.5%	3.5	90.7%	3.5	92.5%
	14	(学校は、一人一人に応じた進路指導や相談活動に努めている。)	3.1	84.1%	3.0	80.0%				
	15	学級では、一人一人の役割がはっきりとしており、それぞれが役割を果たしている。(一人一人にかかり活動等の役割が与えられており、評価されている。)	3.2	88.2%	3.1	86.1%	3.4	91.2%	3.4	92.3%
支持的 風土の醸成	16	道徳の時間は、考えたり、生徒同士が意見を交換する活動が設定されている。(生徒が考え、互いに意見を交換する場が設けられている。)	3.3	90.8%	3.2	90.2%	3.7	97.6%	3.7	97.0%
	17	学級には、授業に安心して授業に参加できる雰囲気がある。(生徒が安心して学習活動に参加できる雰囲気がある。)	3.1	88.3%	3.1	85.6%	3.4	89.8%	3.4	91.0%
	18	先生は、生徒の嫌な発言や場面にふさわしくない行動に対して、その場で注意や指導をしている。(生徒の不適切な言動については、速やかに指導を行っている。)	3.0	86.4%	3.0	79.4%	3.6	95.6%	3.6	97.0%
	19	先生は、望ましい行動や生徒に期待する行動を示してくれる。(生徒にの望ましい行動や期待する行動を示して、励ましを行っている。)	3.1	86.6%	3.1	86.7%	3.5	93.1%	3.5	94.5%
	20	(教師は、生徒の良い発言や考え、行いを認め、褒めている。)	3.1	86.5%	3.2	88.2%				
ふるさと 教育の推進	21	総合的な学習の時間に「ふるさと教育」に取り組む必要性を理解している。(「子どもは、「ふるさと学習」の必要性を感じている。)	2.9	77.3%	3.0	78.7%	3.5	94.1%	3.7	96.0%
	22	「ふるさと教育」では、協力しながら課題に取り組むことができている。(子どもは「ふるさと学習」の課題に協力して取り組んでいる。)	3.1	82.6%	3.1	82.5%	3.6	96.1%	3.7	97.5%
	23	「ふるさと教育」では、地域の人やものなどを使って、学習することができる。(地域の教育資源を活用し、ふるさと教育にあたっている。)	3.0	81.6%	3.1	86.2%	3.5	90.7%	3.6	92.5%
	24	私は、ふるさとの現在や未来について、自分なりに考えようとしている。(子どもはふるさとの現状や未来について、自分なりに考えようとしている。)	2.7	62.0%	2.8	66.2%	3.5	91.2%	3.4	90.8%